

こうた 議会だより

144号

2012.4.26 発行
愛知県幸田町議会



特集

- 住民の声を聞く パート6 20
「弓道 目標は全国大会」
- 住民の安全・安心施策を優先 132億 1000万円 2
- 介護保険料の引き上げ 6
- 婚活支援事業の取り組みをなど9人が一般質問 8
- 追跡 休日保育の実施を 17
- あい・らぶ・マイタウン
「自然がいっぱい坂崎」 「緑がいっぱい幸田町」 22

相見駅開業 2012.3.17
えこたん大好き
〔幸田町のイメージキャラクター〕

安心施策を優先



エコたんバス発車♪

3月

定例会の

あらまし

3月定例会は、2月29日から3月26日までの27日間の会期で開催しました。

初日には、町長が新年度予算の大綱と施政方針を表明しました。

平成24年度の9会計の当初予算をはじめ、平成23年度の補正予算、条例の一部改正など28件と議員提出議案の町議会委員会条例の一

部改正をいずれも原案どおり可決しました。

そのほか、陳情1件を審議し、不採択としました。

平成24年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。

一般質問では、9議員が町政全般にわたり厳しく問いたしました。

町長 施政方針

昨年の東日本大震災や超円高などの影響により、景気は低迷し、本町においても、収入全体では回復段階まで至っていないのが現状であります。このような厳しい状況の下、選挙公約として掲げた「8つの誠」の実現を目指し、第5次幸田町総合計画との整合を図りつ

つ、災害に強い町の実現のための防災行政無線デジタル化整備事業、休日保育の実施、経済・財政の安定化のため多様な企業誘致の推進をするために企業立地課の新設など、新事業に取り組んでまいります。また、計画的な社会基盤の整備や住民サービスの向上を図りながら、事業仕分けなど行政改革にも取り組み、持続可能な財政運営に努めてまいります。

平成 24 年度

一般会計
予算

住民の安全

132 億 1000 万円を可決

前年比 14.3% 減 「緊縮型」

予 算の規模は、一般会計をはじめとする、7つの特別会計ならびに水道会計合わせて、203億7825万円となり、前年度に対し28億5068万円、12・3%の減となりました。

一 般会計は、総額132億1000万円で、前年度に対し14・3%の減、JR相見駅完成で22億1000万円の減額が大きく影響しました。

町 税の総額は、前年度とほぼ同額の70億2480万円。

個人町民税は、年少扶養控除の廃止などにより対前

予算の内容



4ルートに増えたよ。
スクールバスにもなるよ。

えこたんのプロフィール
環境・交通施策のイメージキャラクター
●性別 女の子
●住まい 相見地区のエコハウス
●乗り物 はっぱに乗って移動する

相見駅開業にあわせ

年度1億2400万円の増（6・2%増）、法人町民税は、最悪期から脱却したものの引き続き業績が低迷しており、2億5000万円の増（124・9%増）と見込み、町民税全体では3億7400万円の増（17・1%増）となりました。

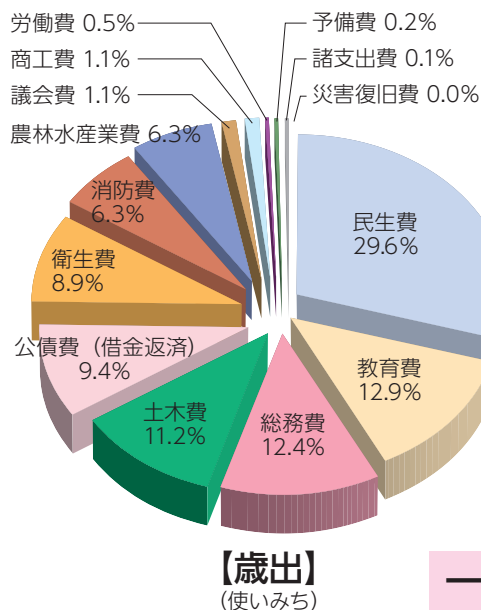
歳 出の主なものは、義務的経費※1億7661万円減（2・9%減）の総額59億6866万円。

投資的経費※は、20億2365万円減（51・7%減）、総額18億8727万円。

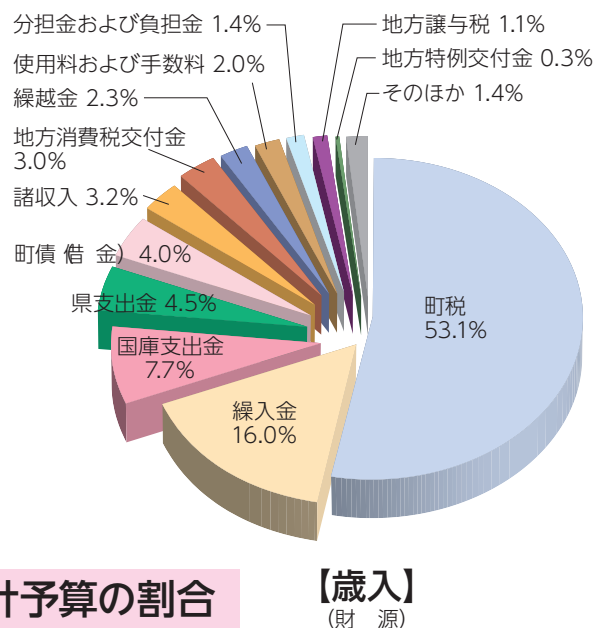
特 別会計の主なものは、幸田駅前土地画整理事業で、主に建物移転補償などで、5億2768万円となりました。

※義務的経費とは
人件費・扶助費・公債費など

※投資的経費とは
普通建設費・災害復旧費など



一般会計予算の割合



新年度予算審議から

2日間にわたり慎重審議の結果、可決しました。

子育て支援

休日保育

Q 現在までの申し込み状況は。

A 定員30人に対し45人の申し込みがある。

Q 定員オーバーは、どう対応するのか。

A 適正に選ぶが、今後ようすを見ながら考える。

Q 職員の体制は。

A 全体で4人を新規採用し、バランスよく配置。

Q わしだ保育園増改築計画は十分検討されたか。

A 現場の保育士の意見を十分取り入れた。

児童安全・健康

Q 小学校大規模改造工事

A 工事の内容は。

A 豊坂小学校の外壁塗装工事と窓ガラス飛散防止工事を実施する。

Q 北部中学校体育館の計画は。

A 平成26年度に実施設計にとりかかる。

Q 小学校に扇風機

A 扇風機は、何教室設置するのか。

A 普通教室を中心に115

教室に4台ずつ設置する。

Q 通学路

A グリーンベルト化計画は。

A 最終年として、豊坂学区を完了させる。

防犯対策

Q 防犯パトロール

A 防犯ボランティア団体の青パト台数と活動のガソリン代などの補助の考えは。

A 現在23台。補助金の考えはない。

Q 防犯カメラ

A 設置計画は。

A 相見駅に15台、幸田駅に5台を予定。

行政改革

事業仕分け

Q 新年度の計画は。

A 7月に2日間計画。外部の仕分け人も検討。事業の見える化と職員の意識改革が目的。

Q 新設課

A 企業立地課の体制は。

Q 課長を含めた5人程度。児童課からこども課への名称変更の理由は。

A 義務教育前の諸手続きを、こども課で一元化。

保育園と幼稚園の窓口を一本化する。



新設「こども課」

くらし

Q 公園の安全

A 公園のバリアフリー化計画は。

A 新年度は、彦左公園を実施し、里前公園、幸田公園は、今後考えていく。

Q コミュニティバス

A 運転手は何人か。

Q 4ルートを5人で交代。運行管理の安全対策を。

A 事故のないよう心がける。

Q 祭壇貸付事業

A 継続はいつまでか。

会計別の当初予算額と採決状況

(▲は減)

会計区分		予 算 額	前年度比 (%)	採決の状況
一 般 会 計		1 3 2 億 1 0 0 0 万円	▲14. 3	反対2：賛成12で可決
特別会計	土 地 取 得	5 2 7 6 万円	▲41. 9	全員賛成で可決
	国 民 健 康 保 険	3 0 億 2 7 1 万円	▲1. 0	反対2：賛成12で可決
	後 期 高 齢 者 医 療	2 億 7 8 9 8 万円	12. 7	反対2：賛成12で可決
	介 護 保 険	1 3 億 5 0 5 0 万円	▲3. 3	反対2：賛成12で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	5 億 2 7 6 8 万円	▲3. 9	全員賛成で可決
	農 業 集 落 排 水 事 業	3 億 7 0 3 0 万円	7. 7	反対2：賛成12で可決
	下 水 道 事 業	6 億 1 4 1 2 万円	▲14. 1	反対2：賛成12で可決
	水道事業 会 計	収 益 的 支 出	6 億 7 2 9 6 万円	0. 4
資 本 的 支 出		2 億 9 8 2 4 万円	▲61. 0	
合 計		2 0 3 億 7 8 2 5 万円	▲12. 3	

A 平成26年度まで続け、その後は新斎場で有効利用をしていく。

環境



太陽光発電システム 1200万円
家庭用燃料電池システム 15万円
新エネルギーシステム等設置費補助

教育

ものづくり



少年少女発明クラブ 100万円
町の将来を託す場に



小学校教室扇風機設置 1725万円
豊坂小学校 7450万円
幸田中学校 200万円
耐震補強・大規模改造工事・実施設計

安全



防災行政無線デジタル化 2億6725万円
屋外拡声機の支局 14カ所増設
聴覚障がい者のための文字表示板を貸与

子育て支援



私立幼稚園入園料補助金 150万円
入園時に1人1万円
休日・土曜日終日保育 889万円
菱池保育園で午前7時30分から午後6時まで実施



彦左公園バリアフリー化 3300万円
トイレ・散策路・駐車場の改修

くらしに密着した
注目事業

議案審議

4月から 介護保険料の引き上げ 基準額は4万5600円

第5期介護保険
事業計画始まる

介護サービスの基盤強化と、第5期介護保険事業の運営に必要があるため、介護保険料率を改正した。

介護保険料率を、第8段階から第11段階に区分し、低所得層の率を引き下げ、高所得層の率を引き上げる。

所得区分の見直しによる対象人数と影響額は、

A 第2から第8段階まで458人。2317万円。

Q 応能負担が原則、段階を増やし高所得の率を2・0以上の引き上げを、

A 国の11段階を基本にしている。



いきいきハート体操

Q 基金の活用で引き上げを抑えるべきではないか。

A 検討したが、将来に備える。
(反対2賛成12で可決)

第5期 (H24—H26年度) 介護保険料

階層	所得等区分	保険料率	年額
1	生保・福祉年金	0.45	20,520
2	世帯非課税所得と年金収入80万円以下	0.45	20,520
3	世帯非課税所得と年金収入120万円以下	0.70	31,920
4	世帯非課税第2・3段階以外	0.75	34,200
5	本人非課税・世帯課税所得と年金収入80万円以下	0.85	38,760
6	本人非課税・世帯課税所得と年金収入80万円超	1.00	45,600
7	本人課税・所得125万円未満	1.15	52,440
8	本人課税・所得125万円以上200万円未満	1.25	57,000
9	本人課税・所得200万円以上400万円未満	1.50	68,400
10	本人課税・所得400万円以上600万円未満	1.75	79,800
11	本人課税・所得600万円以上	1.85	84,360

改定箇所

基準額

証紙の取り扱いを廃止

住民課に係る証紙の取り扱いを全て廃止し、窓口で現金徴収による発行に切り替える。

Q 証紙の年間発行枚数は、5万6000枚。うち

A 住民課は3万8000枚。現金管理と取り扱い基準は、

A レジスターを購入し、当日受け取った金額をありのままに収入とする。きっちりとしたシステムで運用していく。
(反対2賛成12で可決)

町民税均等割を500円引き上げ

東日本大震災からの復興財源の確保のため、たばこ税率、退職所得に係る所得控除廃止、町民税など税条例を改正した。

Q 町民税は、平成26年度から平成35年度までに限り、均等割の標準税率(現行3000円)に500円を加算した額にする。

A 増税の影響人数と額は、1万8754人で937万7000円の増収。

Q 防災施策に必要な財源確保が、なぜ住民負担か。

A 国庫に納付するのではなく防災のために使うもの。
(反対2賛成12で可決)

町営住宅条例を改正

公営住宅法改正に伴い、入居資格要件を改める。

Q 入居条件が変わった点は、収入基準と住宅困窮であれば単身者でも入居できるようになる。

A 今後、町営住宅の増築計画はあるか。

Q つくる考えはない。
(全員賛成で可決)

開かれた議会に 委員会を公開



議員提出議案

町議会委員会条例を一部改正し、委員会の会議を公開する。議会改革の一環として、本会議と同様に委員会を公開し、開かれた議会に取り組むもので6月定例会より公開。

議会会議録をホームページで3月1日から公開。
(全員賛成で可決)

平成23年度

最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や調整など一般会計、特別会計あわせて7議案が上程された。

一般会計の歳入は、町税9000万円を追加し、新駅自由通路関連事業の見込みが確定したため、都市施設整備基金繰入金、町債を減額した。

歳出は、小学校の障がい児対応工事110万円を追加、各事業の最終見込みによる調整で、特別会計への繰り入れ、繰り出しが主なもの。

特別会計では、国保システム改修業務等委託料718万円、介護給付費準備基金積立金860万円の増額、社会資本整備総合交付金の減額などが主なもの。

(全員賛成で可決)

陳情

住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める陳情書(代表者・国土交通労働組合中部地方協議会 議長 杉本 忠久)

(反対12賛成2で不採択)

反対

伊藤宗次 議員

財源留保し財政厳しいと住民犠牲

自主財源の町税である5億円。前年度繰越金で3億円。8億円以上の財源を予算計上せず。

行政水準と質を事業仕分けに責任転嫁。

行財政改革の名で住民負担押しつけ。

近隣市のいわれなき圧力に屈服し、住民の暮らし守らぬ町長。

企業立地課新設の理由が伝

討論

賛成

鈴木雅史 議員

将来を見据えた予算に期待

平成24年度当初予算は、前年度に比べ約22億円、14.3%減の緊縮予算とされた。東日本の大震災・最近の経済状況から、防災対策と夢のある町づくりが求められる。

この中で防災無線のデジタル化を始め安心な暮らしを守ることに重点を置く一方、企業立地課の新設により、将来に

町の将来を見据えた平成24年度予算と判断し前向きに評価する。

町づくりの考えは？

問

婚活支援事業の取り組みを

答 将来を憂い^{うれ}よく考えたい



丸山 千代子 議員

問

愛知県は、結婚を希望する男女に出会いの場を創出する取り組みで、市町村や民間非営利団体に支援する「あいち出会いサポート事業」を実施。婚活支援事業の取り組みを。

問

未婚の男女が増え続け少子化問題としても深刻になってきている。町の未婚率は。

答

〔総務部長〕 国勢調査の結果では、男女共に未婚率が高まっている。

男性未婚率

	30～34歳	35～39歳	40～49歳
H12年	42.9%	26.2%	18.7%
H22年	47.3%	35.6%	28.6%

女性未婚率

	30～34歳	35～39歳	40～44歳
H12年	26.6%	13.9%	8.6%
H22年	34.5%	23.1%	17.4%

問

市街地や複数の店舗で一斉に開催する「まちこじん」が広がっている。地域活性化として取り組みを。

答

商店街、振興会の取り組みへ導いていきたい。

問

婚活だけでなく終わるのではなく、男女共同参画につながる取り組みで住み

答

続けられるまちづくりを。

問

〔総務部長〕 結婚をためらう要素を少なくするのが行政の務めと考える。〔町長〕 将来を憂う気持ちもあり、よく考えたい。

問

安全な不活化ポリオワクチンに

答

平成24年末の薬事承認待ち

問

ポリオ予防接種で使わ



ポリオ接種

答

〔健康福祉部長〕 平成20年度が74・2%、21年度が73・3%、22年度が61・5%である。

問

ポリオ発症の恐れがない安全な不活化ポリオワクチンに切り替えを。

問

厚労省は「今年の秋」としているが、輸入だけ

答

では必要量が確保できず当面、生ワクチン接種を呼びかけている。国に対し、早急に切り替えを要請すべきだ。

問

〔町長〕 日本では不活化ワクチンの開発が遅れ、生ワクチンを使い続けてきた。不活化への切り替えが平成24年度末といわれており、早く薬事承認されるのを見守りたい。

問

〔町長〕 中国で集団感染している。早急に対応すべきだ。

答

〔町長〕 国内で開発されている不活化ワクチンは、弱毒性ウイルスを使用し、世界初というもの。早急に実用化されることを基本とし、それを待ちたい。

その他の質問項目

- 中央公民館の施設改善



中根 久治 議員

問 どうする三駅格差

答 全体計画で見直していく



整備が待たれる三ヶ根駅周辺

相見駅の開業に伴い、三ヶ根駅とその周辺がほかの二駅と比較して大きく立ち後れることとなる。この格差を三ヶ根駅を中心に問う。

問 三駅の公共駐車場の実態と三ヶ根駅に町営の駐車場がない根拠は。

答 環境経済部長 相見駅500台、幸田駅516台、三ヶ根駅にはない。特に根拠はない。
問 駅周辺の民間駐車場の駐車台数と月極の平均料金は。

答 18カ所に291台があり、月4700円程度である。

問 日利用の公共駐車場を、用地がないので設置できない。

答 町長 日利用の駐停車場を。町長 観光のまちとして全体計画で見直していく。

問 月極町営駐停車場は。月極町営駐停車場は。既存の駐車場を圧迫せず、駅前広場を含め、全体として考えていく。民間駐停車場への助成を。

答 補助金を出す考えはない。

問 三ヶ根駅の利便性向上を

答 地域と一体で

問 三ヶ根に設置する防犯カメラの台数は。

答 総務部長 相見駅15基、幸田駅5基、三ヶ根駅には計画していない。

の設置予定はあるか。当面はない。

問 三ヶ根駅建設当時、地元の負担金は何%か。
答 1万3000円の均等割のほかは、記録が不明である。

問 三ヶ根駅前の記念碑の碑文の金額との違いはなにか。

答 町として把握はしていない。
問 三ヶ根駅売店の拡充計画は。

答 環境経済部長 スペース的に困難であるが、今後の活用は検討していく必要がある。

問 三ヶ根駅に跨線道路橋の併設を。

答 建設部長 バリアフリー新法の基準をみたす用地がないため、設置は困難である。

問 三ヶ根駅利用の総合計画の見直しを。

答 今後の検討課題であるため、全体計画を作り地域のひと町が一体となりすすめていく。

杉浦 あきら 議員



問 歯科口腔保健の推進を

答 教育委員会と調整する

歯科口腔保健の推進のための対策を問う。

問 「歯科口腔の健康づくり」の条例制定を。

答 〔健康福祉部長〕 国の動向を見守り、判断する。

問 8020運動※の今までの取り組みは。

答 乳幼児期は、歯磨き指

導。成人期は、無料の歯周疾患健診をしている。

問 町内の8020運動の成果は。

答 達成者は、増加傾向にあり、幼児の虫歯も減少している。

問 フッ化物洗口の成果と問題点は。

答 〔教育部長〕 虫歯のある児童の割合が低くなっている。問題点は、準備と片づけ、管理の負担である。

問 フッ化物洗口を実施するためには、何が必要なのか。

答 〔参事〕 保護者の理解が必要である。

問 歯科医師と保健所の考え方は。

答 〔健康福祉部長〕 若干の温度差がある。

問 「歯科口腔の健康づくり」の条例化と洗口をいつ頃まで実施できるか。

答 〔町長〕 教育委員会などと調整する。

※8020運動とは
80歳で20本の自分の歯を保つようにする運動



桜の下で元気に体操



フッ化物洗口（豊坂小学校）



大嶽 弘 議員

問 幸田駅地下通路の改装を

答 リニューアルを将来検討

幸田駅前再開発・周辺整備の展望を問う。

問 平成24年度の建物

移転補償費予算4億2689万円が計上されている。移転計画件数は、

答 **建設部長** 12件を予定。

問 現在第一期の区画整理中であるが、第二期の計画展望は、

答 第1期完了の2、3年前に決定。その時は地元説明会を実施する。

問 駅地下通路の照明・装飾の改装を。

答 **総務部長** 安全に通行できるレベルの明るさはある。将来機会があればリニューアルを検討する。

問 芦谷蒲郡線の道路整備の計画と荻交差点の改良工事内容は、

答 **建設部長** 駅前から区画整理で70m、街路事業で500m、道路事業で390m、交差点改良で100mの4事業を計画。

荻交差点は、幅18mで右折帯も設置。道路北側を全面拡幅し、平成28年度に完了予定。

問 総合学習の成果情報を学校から積極的に情報発信

小中学生の総合学習は、子どもの成長・教師が変わる・地域に広がる効果があるといわれている。

問 年間の学習時間と課題の選定はどのように決めるのか。

答 **教育長** 小学3年生以上で年間70時間。ただし中学1年生は年間50時間。

問 課題は各学校が状況に合わせて定めている。学習の成果は、どのように情報交換や提供がされているか。

答 各校の学校経営案や研究のまとめ、授業参観のほか、「安全・安心なまちづくり推進大会」での発表も成果の一つ。

問 学習成果は「広報こうた」でシリーズ化を。

答 各学校に情報発信などを積極的に起こすよう指導する。シリーズ化は十分参考にする。

問 日本固有の文化科目の教育拡大の考え方は。

答 茶道や三河万歳など学ばせたい内容を吟味し、各学校を指導していく。

そのほかの質問項目

● 地域商業振興券



安全・安心なまちづくり推進大会で発表（荻谷小学校）

水野 千代子 議員



郷土資料館の修繕と案内板を

答 最小限に修繕し看板つける

問 郷土資料館の入場者数と入場者の層は。

答 **【教育部長】** 館内外で合わせて、4777人である。小学生や特別養護老人ホームの方、一般の方が多く訪れている。

問 教育の視点で資料館の活用を。

答 小学生が社会科の校外学習で、歴史・郷土・文化を学んでいる。

問 文化財マップ・パンフレットの作成。「ひな祭りスタンプリー」参加を。

答 一部修正して作成する。スタンプリーは検討する。

問 ホームページの開設で、特別展示会などのPRを。

答 情報が提供できるため開設する。

問 インターネットを接続

して調査研究を。

答 来館者の質問もあり有効であるため検討する。

問 外観や看板は資料館とわからないほど傷んでいる。修繕と案内板設置を。

答 最小限に修繕し、看板

は早い時期になおす。

問 深溝松平家との関係から島原市との文化交流は。

答 **【町長】** 災害の援助協定を含めて考え、平成24年度中にすすめたい。



改修が待たれる郷土資料館

問 成年後見センターの開設を

答 制度を精査し今後考えていく

問 判断能力が不十分な人の財産管理や身上監護のため、契約や法律行為をする成年後見制度がある。相談の窓口と件数は。

答 **【健康福祉部長】** 相談の窓口は、福祉課で社会福祉協議会とも連携している。平成23年度は、28件である。

問 制度の申し立てと費用負担を助成する成年後見制度利用支援事業の実績は。必要とする人に周知を。

答 平成17年度に要綱を制定したが実績はない。利用のためにPRをしていく。

問 国は、市民後見人の育成と活用をすすめている。近隣では、民間のNPO法人や社協に委託し成年後見センターで制度に取り組んでいる。考えは。

答 国の制度を精査し、可能な部分を考えていく。

問 田原市は、社協が運営主体となつて成年後見センターを開設している。本町も開設を。

答 どういう体制が良いのか諸問題の調査研究をしている。



都築 一三 議員

問 墓地公園の計画はあるのか

答 墓園整備基本構想で検討



寺院管理墓地（深溝地内）

- 問** 墓地は心の教育に重要な役割があると考える。地域住民の管理する墓地は町内に何力所あるか。
- 答** 環境経済部長 共同墓地として73カ所。
- 問** 寺院が管理する墓地は町内に何力所あるか。
- 答** 寺院の墓地は18カ所。墓地公園の計画はあるのか。
- 答** 墓園整備基本構想で整備を検討している。
- 問** 墓地の増設、拡張に障害になることは何か。

- 答** 墓地の増設には関係者の理解とコンセンサスが、拡張は関係法令などに照らし合わせる必要がある。時代の流れで共同納骨堂や、自然公園型墓地、散骨墓地などの要望の認識はあるか。
- 答** 葬儀・墓地などの引合いの概念の変化やニーズの多様化は認識している。

- 答** 環境経済部長 まつりへの支持率や経済効果などは検証していないが、伝統行事として期待されている。
- 問** 23年間続いている彦左まつりを、マンネリ化から脱却するためにも数値で評価出来ないか。
- 答** 実質的な財政力指数が1・0を割り込むような不安な今こそ、イベントの検証を問う。

問 イベントの検証でマンネリ防止 答 伝統行事で期待されている



凧揚げまつり

- 問** 彦左まつりの人出と補助金はいくらか。
- 答** 毎年、3万人前後の人出があり、約200万円の補助をしている。
- 問** 産業まつりの歴史と予算は。来場者数と終了後の効果はあるのか。
- 答** 昭和55年以降、農業主体の秋祭りの的なものから発展した。約2500人の来場者で、予算は約400万円。物品の宣伝効果がある。
- 問** 凧揚げまつりの来場者を呼び込む施策は。
- 答** 教育部長 いろいろなメディアを通して情報発信していく。

伊藤 宗次 議員



まちづくり要綱で定住人口増を

答 組合施行は地権者合意ですすむ

問 施政方針で「都市化や核家族化で地域力が低下」となげくが、9地区の区画整理地内の戸建と共同住宅の戸数、比率は。

答 **建設部長** 戸建てが914戸、共同住宅が1273戸、1.39倍である。

問 リーマンショックの08年10月～09年9月の1年間で転出した人口は。

答 2102人。

問 地主の「土地活用まかせ」のまちづくりでいいのか。

答 組合の合意の上で、土地利用として建築制限の用途を決めるなど指導していきたい。

問 区画整理事業補助金タレ流しても、まちづくり政策なしだ。

答 道路や公園の基盤整備

などですめる。公園づくりは新旧住民でワークシヨップもおこなっている。

問 町全体の戸建と共同住宅比は、74対26。4戸に1戸が共同住宅のまちで定住人口増が図れるのか。

答 総合計画に基づき住みたくなるような、住環境の快適なまちづくりをめざしていく。

問 定住人口増を基本に「まちづくり要綱」の制定を。

答 組合施行は地権者合意ですすむ。

問 近隣の圧力に屈し住民に我慢か

答 バランスを
考えていく



野場の区画整理地区

問 町長施政方針を「住民こそ主人公」の視点で見ると、「住民間の負担の公平」「近隣市との均衡」の名で、理由なき公共料金3700万円、国保大増税で6000万円押し

つけが「8つの誠」の実現か。

答 **町長** 使用料などは近隣市より格段に安い。箱物はつくらないが、住民の身近な施策をすすめていく。

問 近隣市の「幸田町はお金持ち」の圧力に屈服して、住民に我慢押しつけていいのか。

答 近隣市とのバランスを考えていく。

問 自治法は「住民の福祉の増進」が責務としているが、予算や施策から中身が見えてこない。

答 企業立地課・こども課の新設や、休日保育など実施し、住民の幸せになるような予算編成とした。

問 施政方針に言葉はあっても中身はなく、「総合計画」への逃げ込みだけだ。

答 安全面での施策を優先し、東南海地震に備えて市町村間の相互応援協定を結んでいく。



志賀 恒男 議員

問 ITS 技術で信号機改良を

答 地元・警察と協議しすすめていく



混雑する深溝交差点

ITS 技術で交通事故の低減ができる。

車の運転中に感じたヒヤリハットやイライラの要因解析で、事故防止の具体策が見えてくる。

町内の交差点信号機の LED 化率と今後の LED 化の計画は。

号交差点があり、うち 49 カ所が LED。今後の計画は、事故の多い交差点

総務部長 94 カ所の信

や見にくい信号を、警察に情報提供し、要望していく。

交差点の信号機制御の改善で、ムダな信号停止が防げる。国道 248

号坂崎広野交差点の信号機に車両感知器の設置を。

地元、警察と十分協議をして、考えていく。

深溝東道祖神交差点と深溝宗広交差点の信号機制御の連携見直しと最適

深溝東道祖神交差点と深溝宗広交差点の信号機

化で、形原方面への渋滞解消、イライラ防止を。

信号機制御で処理がうまくできれば、警察に要望していく。

J R の踏切との関係を調査して対応を考え、すすめたい。

有料広告で収入アップを

指針をつくって確実にすすめる

行政改革の一環として新たな財源確保のために広報誌、ホームページ、封筒に企業広告を載せる検討をしてきた。平成 21 年度の検討経過は。

西三河の広報研究会で調査・検討をする中で、実施するため継続的にすすめてきた。封筒は検討していない。

平成 22 年度に指針は策定されたのか。

指針の策定はできなかった。

平成 23 年度は運用とあるが、現時点で未実施。PDCA※が不十分では。

具体的なスケジュールがしっかりとされておらず進捗管理のしくみが確立されてなかった。

広報がまごりの裏表紙には、全面広告でケーブルテレビの番組表が載っている。広報こうたになぜ採用しないのか。

裏表紙もトップページになるため掲載できない。

有料広告で収入アップをするため、今後の取り組み計画は。

第 9 次の行革の成果の中で、指針をつくって取り組み、ひとつずつステップを確実にすすめていきたい。

※ PDCA とは

PII プラン (計画)

DIID ドウ (実行)

CIIC チェック (評価)

AIIL アクション (改善)

夏目 一成 議員



問 どう生かす 24年度予算

答 安全な暮らしを守る

「8つの誠」の実現をめざしている大須賀町政の2度目の予算案である。

新駅建設という大事業を完遂し、いよいよ安全・安心なまちづくりの政策がきめ細かに実施されることが期待されている。

町長に平成24年度予算を問う。

問 安全・安心なまちづくり事業の力点は。

答 **町長** 安全な暮らしを守るため、防災行政無線のデジタル化、民間木造住宅の耐震診断と改修費補助、市町村間の相互応援協定に取り組む。

問 災害に強いまちづくり施策の力点は。

答 床上浸水対策緊急事業で広田川の河川改修をすすめており、平成24年度は護岸工事をする。菱池遊水地も地元協議をし、

計画区域を確定し早期実現をめざす。

問 夢のあるまちづくりへの取り組みは。

答 企業立地課で「青少年女発明クラブ」に取り組み、子どもたちの発想の

場として将来につなげる。

問 町の将来像を町長はどう見るか。

答 平成28年度から新たな総合計画が始まるため、さらに見極めていく。



防災行政無線デジタル化の説明会



新しくなる永野橋（広田川）

あの答弁は
どうなったの!

追跡 一般質問その後



菱池保育園

平成22年9月定例会
丸山千代子議員
平成23年9月定例会
水野千代子議員

休日保育の 実施を

保護者のニーズに合
わせ、土曜日の一泊保
育と休日保育の実施を。

その後
afterward

anAwer

在園児童全員の保護者
にアンケート調査をおこ
なう。保育士と協議し実
施園は検討する。

平成24年4月から、菱
池保育園で土曜日の終日
保育、祝日・日曜日の休
日保育を実施する。全園
で土曜日の保育を30分間
延長する。

議員全員で
消防署へ

2月22日 30m級はしご
車の新車納入のお披露目
がされた。

シャシは、日野自動車、
オートマチック（5速）。
はしごは、ドイツ製でコン
ピュータ制御の先端屈折。

消防長のコメント

東海3県で初の最新鋭の
はしご車を導入しました。
これを機会に皆さまの防災
意識が更に深まることを期
待します。

これからも住民の安全を
守る最前線として頑張ってい
ます。

救急車が

くるまでに

2月22日全議員を対象
に消防署で応急手当の講習
会実施。

救命士2人の講師から、
人工呼吸、心臓マッサージ、
AED※の基礎知識と実技
の訓練を受けました。

※AEDの機能は、心臓の
けいれんを電気ショックで取
り除くもの。

こうた 議会だより 全国コンクール 優良賞

平成23年4月発行
の「議会だより140
号」が第26回町村議会
広報全国コンクールで
優良賞を受賞しまし
た。3年連続で7回目
の入賞となり
ました。今後も
わかりやすく、
住民参加の広
報づくりに努
力していきま
す。



最新鋭の
はしご車

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

「企業立地課」 「いづも課」設置

2月17日 協議会開催

組織機構改革で、企業立地課を新設し、幼保一体化を見据え、児童課をこども課に名称変更する。

Q 企業誘致課としなかった理由と、その違いは。

A 特に違いはない。新産業誘致をすすめ、町独自の情報網を生かし、産・学・官と連携しすめる。

Q 組織と人員体制は。

A 課長、グループリーダーとあわせ数人を配置予定。少年少女発明クラブを立ちあげ「ものづくりの町」

をPRしていく。

Q 「いづも課」でいつかわるのか。

A 義務教育前の諸手続きを一括して取り扱う。

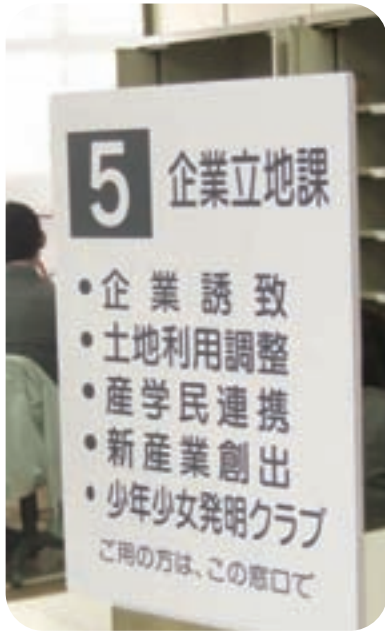
「えこたんバス」に決定
「コミュニケーション」の愛称

Q 愛称の応募状況は。

A 全応募数は886通。「えこたんバス」は72通。

Q 運行ルート、バス停などの要望は聞いたか。

A 地域、学校、福祉関係など、さまざまな意見を聞き、反映した。



使用済み小型家電製品の 回収始まる

産業建設

2月15日 協議会開催

使用済み小型家電に含まれる貴金属やレアメタルの回収に向け、資源拠点回収場所が4月から開始する。

Q 回収目標と効果は。

A 年間3トンを見込む。資源化により、約9万円の経費削減と粗大ごみ集積処理場の混雑の緩和を期待。

Q 対象品目は。

A デジタルカメラ、電子辞書、ゲーム機など国の16推奨品目を参考に回収し、順次拡大したい。

Q 分別ステーションでの収集は。

A 今までどおりの分別収集も可能だが、拠点回収場所でお願したい。

家庭用燃料電池
に補助金

A 地球温暖化対策の一環として、太陽光発電システムに加え、家庭用燃料電池システムに補助する。

Q 24年度新エネルギー補助の内訳は。

A 太陽光発電システムに100件分1200万円、燃料電池システムに10件分15万円を予定。



家庭用燃料電池システム

わしだ保育園 増改築の基本構想示す

文教福祉



わしだ保育園全景

2月14日 協議会開催

園の老朽化、園児増を見込み、平成25年度完成をめざし基本構想が示された。

3歳以上児用2室、未満児用1室などを増築する。

東門を閉鎖し東側の園庭に遊具、砂場を移設。西門を新設し、24台分の駐車場を設置する。

Q 園庭の一部が駐車場となる。園児の安全は。

A 高いフェンスを設ける。

Q 南側に増築棟ができる。

A 既設棟の明かりは十分か。

A 中廊下を幅広とし、採光や通風をとっていく。

Q 増える園児数は。

A 約50人を予定している。

高齢者福祉計画（案）などを協議

平成24年度から平成26年度までの、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画が策定される。

Q 関係者の意見を聞いているか。

A アンケート調査、パブリックコメントを実施してきた。

Q 特別養護老人ホームへの待機者が多いが対策は。

A 平成26年度に建設予定計画をすすめていきたい。

防災対策

災害時に使える避難所どうする

2月10日 協議会開催

町防災計画修正検討委員会の協議内容。相互応援協定などを協議。

Q 検討委員会に教育委員会も加え、防災教育を。

A 教育委員会も入ってもらえるように話します。

総合開発

駅前共同店舗4月下旬オープン

2月9日 協議会開催

幸田駅前Aブロック共同ビルの概要、相見駅完成式典の実施を協議。

Q 6店舗の名称は、組合形式でいくのか。

A 6店舗が連携することが共同化の目的。合同で意見調整をし、その中で

Q 町全域が災害時、要援護者で登録していない人はどうする。

A 役場に名簿がある。ワシントンポネ遅れるが。

Q 災害時相互応援協定の相手は。

A 東北、深溝松平と縁の深い島原市など。

Q 災害時に避難できぬ避難所がある。どうする。

A 安全第一。状況によっては屋外避難もある。

Q 災害ボランティアの受入部署、連携は。

特別委員会レポート

名称も考えていく。

Q 駐車場は。

A 現在の駅前商店街駐車場、商工会跡地、旧オリオン跡の3カ所を予定。

Q 幸田町の農業、商業の振興を図れる方針は。

A 町の農業、商業を発展させる起爆剤にしたい。

Q Aブロック商店街と周辺をまぎ込んだ施策は。

A 相乗効果を期待し、幸田駅前が街並として広がっていくよう施策を展開していく。



工事がすすむ幸田駅前

A 社協が受入れる。修正計画で記述する。

全国大会 向こうに見えるもの



弓道の競技人口日本一といわれている愛知県。その中で活躍著しい町内3中学校の部活動と、弓道連盟を2月に訪ねました。

幸田町弓道連盟は、会員数50余人が、本多政和会長（範士八段）渡邊百世さん（七段）を師範として、生涯スポーツ、町の武道競技力、伝統の継承をめざし活躍しています。

正射必中

南部中学校

部員数 54人
競技会 平成22年東海大会
団体女子優勝

顧問・山本先生の話

- ①弓の魅力は、一連の所作の瞬間。自分の世界に入れること。
- ②指導方針は、「正射必中」。正しい射が的中につながる。
- ③目標は全日本武道錬成大会。

大竹部長（男子）の話

村越部長（女子）の話

- ①南中の弓道場は、山に囲まれ



南部中学校 弓道部

- 小鳥の声が聞こえる。楽しい時、苦しい時、いつも一緒になって指導してくれる先生に感謝している。
- ②男子の目標は、県大会の入賞。
 - ③女子の目標は、全日本武道錬成大会。

魅力は立禅

幸田中学校

部員数 66人
競技会 平成7年・同20年度に
女子の部で全国優勝

顧問伊吹先生の話

- ①魅力は、立ち姿で禅の世界を体感できること。
- ②指導方針は、個性に合わせた育成。助け合い・努力の大切さを意識している。
- ③目標は、全国大会優勝。



幸田中学校 弓道部部长

芝部長（男子）の話

中学に入り初めて弓道を見た。そのとき「これだ。」と感じた。

山口部長（女子）の話

精神的に強くなりたい。楽しさは、皆で型を教え合うこと。

一射集中

北部中学校

部員数 男子21人
競技会 平成23年度全国大会
（武道館）敢闘賞受賞

顧問・橋本先生の話

- ①魅力は、努力して射が改善されたときの達成感。
- ②指導方針は、日々の生活を正しくする。基本は静かに集中すること。（一射集中）

梶部長（男子）の話

弓は集中力を養える。全国大会をめざして家では、ゴム弓によるイメージ練習をしている。



北部中学校 弓道部

目標は 弓道 塚(あずち)の



本多会長



幸田町弓道場の霞(かすみ)的

的は己の心にある
幸田町弓道連盟

練習は、中央公園内の弓道場で月曜日を除く毎日、おこなわれている。

会長の本多さんは、全日本選手権で優勝5回の実力者。

渡邊さんは、全日本遠的選手権で優勝2回の経歴を持っている。

本多会長の話

「静寂の中の躍動感」

「的は仁」弓道の素晴らしさは、礼儀・挨拶・集中力・思いやりと人の生き方を勉強できる。

①魅力は、静寂の中、離れの瞬間の躍動感にある。

会員の最高年齢者は、83歳であり年令を問わないことも素晴らしい。

②指導方針は、吉見順正の「射法訓」である。

父である左手(弓手)と母である右手(妻手)の和合、片思いでは子(矢)は育たない。弓手と妻手、身・心・弓の和合で矢は的に中たる。袴姿にあこがれて始める人も多い。

弓は袴姿の日本文化であるから、伝統を守り継承しなければならぬ。的に中てようと思うと中たらない。「的在己心」

的は己の心にある。

③目標は、会員から全国に通じる選手を育てること。

渡邊百世さんの話

「弓道は精神的格闘技」

遠的競技は、距離60m、的の直径は1mに設定されている。

最近の話題としては、女性部員から「弓を始めてから姿勢がよくなった。」との喜びの声がある。

心に残る言葉は、全日本女子優勝者・仰木洋子さんが、マスコミ取材で心境を語った「塚※の向こうに宇宙が見えます。」との言葉です。弓道は宇宙との融合を理想とします。

※塚とは

矢を受け止めるための土盛り



幸田町弓道連盟

アンケート結果

弓道の魅力・素晴らしさ 年齢を問わない。静寂の中の躍動感。基礎訓練が実る。課題が多く飽きない。心の鍛錬。静かな集中力。仲間と一緒に。心と体が向き合う。

目標・夢 全国に通じる選手が育つこと。精神力の養成。全国大会。素直な稽古。継続すること。人間完成。人の心をいやす。「秘密の花園」をつくること。

議会広報の感想 文字が大きく見やすい。写真が多く読み易い。写真と文章の併用がよい。写真がきれい。広く浅く多くの情報。

議会・議員に望むこと 住みやすく安全なまち。健康と活気。活性化。魅力あるまち。運動促進。災害対策。すてきなまち。実行力。精神保健福祉。

取材・アンケートのご協力に感謝とお礼を申し上げます。

お詫びと訂正

143号に掲載しました人権擁護委員は、杉浦真里氏でありました。

藤江陸空くん



佐野玲奈さん



自然がいっぱい坂崎

僕は、自分の住んでいる坂崎が大好きです。大好きな理由は、二つあります。

一つ目は、坂崎には自然がいっぱいあることです。僕は、外で遊ぶことが大好きなので、毎年、相見川で魚をとったり、長嶺でカブト虫をつかまえたりします。友達と一緒に、生き物がどこにた

くさんいるのかさぐすのが楽しいです。

二つ目は、自然を守ろうとする人が、坂崎にたくさんいることです。坂崎には里山があります。この山は、昔の山にもどそうと、たくさんの地域の人が協力をして、二年前にできました。僕は、こういう人がいる坂崎に住んでいてよかったと思

います。
大きくなった僕も、坂崎の自然を守っていく人になりたいです。



緑がいっぱい幸田町

わたしの住んでいる幸田町は緑がいっぱいあります。

例えば、山の木や草や花などの植物、幸田町の特産物であるナス、筆がき、いちごなどの果物や野菜がわたしにとっての緑だと思います。

わたしは一年の時から学校でいろんな野菜や植物を育ててきて、一番心

に残ったのは、三年の時に育てたナスです。

ナスは幸田の特産物だしわたしは、ナスが大好きなので一生けん命育てました。水やりをわすれたり、台風がきたりしたけど、わたしのナスはちゃんと育ちました。

最近では、緑が減っていると思うけれど、幸田町は緑豊かな町だと思う

のでわたしは緑を増やしていきたいと思います。



絵：牧野次男さん（芦谷）

あなたも議会を傍聴してみませんか

6月定例会の予定です。

●会期の日程

6月5日(火)	開会、議案の説明
7日(木)	一般質問
8日(金)	〃
12日(火)	議案の質疑
13日(水)	〃
14日(木)	文教福祉委員会
15日(金)	産業建設委員会
18日(月)	総務委員会
20日(水)	議会運営委員会
22日(金)	討論、採決、閉会

●場所 役場5階 議場・第2委員会室

●時間 午前9時から

●詳しくは議会事務局へ

TEL 0564-63-5151 (直通)

編集後記

3・11の東日本大震災から1年が過ぎました。当日、予算特別委員会開催中、議場内がユサユサと揺れ、今まで経験したことがない大きさと同間の長さを感じ、議会が一時中断しました。

の皆さんとのつながりとして、果たす役割は大きいと思っています。さらに身近な議会広報をめざしてまいります。

議会広報特別委員会

(酒向弘康)

委員長 大嶽 弘
副委員長 丸山千代子
委員 水野千代子
酒向 弘康
都築 一三
中根 久治
志賀 恒男

発行責任者

議長 池田 久男